



Choushi River

日本にはまだこんなに美しい川がある！魅力・ときめき・伝えたい！

銚子川シンポジウム

Choushi River Symposium

平成22年10月2日(土)
13:30~16:30

入場無料

定員 700名

森・人・海 いのち 生命をつなぐ銚子川

開催趣旨

銚子川は、本州で最も年間降水量が多い大台ヶ原を源とし、熊野灘へと注ぐ全長約20キロの三重県南部の紀北町を流れる二級河川です。ほとんどが山間部を流れており、集落が少なく川の水はほとんど汚されることなく河口に至るため、下流域まで透明度が高いのが特徴です。河口では淡水と海水の境目である汽水域がゆらゆらと揺れて見える現象を観察することができます。この汽水域を『ゆらゆら帯』と呼び、透き通ったきれいな銚子川だからこそ見られる現象として大変貴重であるとされています。

近年、このような銚子川の美しさや、川あそびに最適な魅力ある川であることが認知され、シーズンには町外からも多くの人々が訪れるようになりまし

た。しかし、中には心無い人がゴミを残していったり、川の水を汚したりするなどの課題もあり、地元では清掃作業を行いながら、銚子川の保全と活用について検討しているところですが、豪雨による川原への堆積土砂と河床の上昇、水枯れなど、川がやせ、荒れていく現状が日本のさまざまな川で問題となっていますが、銚子川も例外ではありません。

人々に恵みや豊かさ、自然の素晴らしさを伝えてくれる銚子川として、環境に配慮しながら楽しんでいただくにはどうしたらいいのか、どう守り後世に伝えていくのか。『ゆらゆら帯』が見られる日本の貴重な清流銚子川から全国に向けて、このシンポジウムで発信していきたいと思ひます。

プログラム

第1部

基調講演 ネイチャーフォトグラファー 内山 りゅう氏

テーマ 「銚子川～清みきった美しい水から見えてくるもの」

内山 りゅう氏 プロフィール

1962年 東京生まれ。東海大学海洋学部水産学科卒業。
1999年 和歌山県白浜町に移住。

世界各地の“水”に関わる生き物とその環境の撮影をライフワークとしている。とくに淡水にこだわり、「清らかな水」を取り巻く水環境にレンズを向け、創作活動を続けている。主な写真集に「大山椒魚(ビブロス)」、「アユ 日本の美しい魚(平凡社)ほかがある。主な著書に「田んぼの生き物図鑑」「淡水魚(山と溪谷社)」、「水に棲むものたちの物語」(バジリコ)、「水の名前」(平凡社)ほか多数がある。水や自然、生き物に関するテレビ番組の企画・出演も多く、「ハイビジョン特集 アユ躍る清流の四季 古座川」、「ダーウィンが来た!いきもの新伝説」(NHK)、「情熱大陸」(毎日放送)、「報道ステーション」(テレビ朝日) などがある。20キロのウエイトに10キロのカメラ、その他の機材を背負って山に分け入り沢を上る。現場では流れる水の中で酸欠と戦いながら撮影。撮影が終わればそれらをまた背負って帰る。体力と忍耐力の限界に挑みながら、淡水ならではの「四季」や「住び・寂び」を表現する写真家。美しい生きている川の宝庫である紀州に住居を移してまで“水”にこだわる。



第2部

パネルディスカッション

テーマ 「川の現状と未来～銚子川からの発信」

コーディネーター 久 隆浩氏 (近畿大学総合社会学部教授)

パネリスト 内山 りゅう氏 (ネイチャーフォトグラファー)

原田 泰志氏 (三重大学生物資源学部教授)

松場 妥氏 (銚子川漁業協同組合組合長)

上村 毅氏 (海山遊びの達人・紀北町職員)

「銚子川」をテーマにした作品を募集します。

絵・書・工作など、なんでもOK!
応募いただいた作品はシンポジウム当日ロビーにて展示させていただきます。

応募方法など、詳しくはHPをご覧ください。

<http://www.town.mie-kihoku.lg.jp/>

申し込み方法

住所・氏名・電話番号・職業を明記のうえ、FAX または E-mail でお申し込みください。

申し込み・問い合わせ先

紀北町役場 産業振興課 商工観光対策室
TEL.0597(32)3905 FAX.0597(32)3172
E-Mail sangyou@town.mie-kihoku.lg.jp

会場:海山公民館



〒519-3406 三重県北牟婁郡紀北町海山区相賀 481-2
TEL.0597-32-2803

●参加申込書 (FAX 用紙) 「銚子川シンポジウム」に参加を申し込みます。

FAX.0597(32)3172

氏名	住所	職業又は勤務先 (任意)	参加人数
〒			
TEL			

個人情報につきましては、銚子川シンポジウムのみで利用し、第三者への提供及びその他事業での利用は致しません。



森・人・海
いのち
生命をつなぐ
銚子川

©Ryu Uchiyama

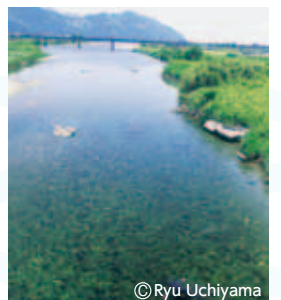
日本にはまだこんなに美しい川がある！魅力・ときめき・伝えたい！

銚子川シンポジウム

Choushi River Symposium

平成22年10月2日(土) 13:30~16:30 (12:30 開場)

入場無料 会場：海山公民館 定員：700名



©Ryu Uchiyama

第1部
13:35~

基調講演

ネイチャーフォトグラファー

内山 りゅう氏

「銚子川～清みきった美しい水から
見えてくるもの」

第2部
15:00~

パネルディスカッション

テーマ：「川の現状と未来～銚子川からの発信」

コーディネーター 久 隆浩氏 (近畿大学総合社会学部教授)

パネリスト 内山 りゅう氏 (ネイチャーフォトグラファー)
原田 泰志氏 (三重大学生物資源学部教授)

松場 妥氏 (銚子川漁業協同組合組合長)
上村 毅氏 (海山遊びの達人・紀北町職員)



【問い合わせ先】

紀北町役場 産業振興課 商工観光対策室 〒519-3492 三重県北牟婁郡紀北町海山区相賀495番地8
TEL.0597(32)3905 FAX.0597(32)3172 URL.<http://www.town.mie-kihoku.lg.jp/>

主催／紀北町、財団法人 自治総合センター

後援／NPO 法人ふるさと企画舎、川づくり会議、紀北町観光協会、きほく七夕物語実行委員会、交流空間みやま、銚子川漁業協同組合、便ノ山区、ホテルの会、三重県 (五十音順)

このシンポジウムは全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。

